

(別添7)

事業所名 グループホームしらゆり竹田

2 目標達成計画

作成日: 令和5年8月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	3年以上に亘るコロナ禍により、外部者との接触(面会)や外出行事を実施することができず、利用者に寂しい思いや窮屈な思いをさせている。	利用者が施設内の限られたスペースだけでなく、外で過ごす時間を作ったり家族との会話を楽しむ時間を持つことにより、充実した生活を送れるようになる。	近隣散歩やドライブに出かけるなど、施設外で過ごせる時間を設ける。また、中庭や玄関先などコロナ感染リスクの低いスペースを利用して、家族との面会が出来るようにする。	6ヶ月
2	24	利用者のこれまでの生活歴の把握が不十分であり、また、ひとり一人の生活歴を誰が見ても分かりやすく整理出来ていない面があるため、介護計画作成に十分反映されていない。	利用者個々の生活歴、馴染みの暮らし方を分かりやすく文書化し、全職員がそれを理解することによって利用者が自分らしく生活できるような支援が出来るようになる。	入所時に利用者、家族等から生活歴に関する情報をヒアリングし文書化する。また、日々の関りの中から、利用者の望む生活がどのようなものか推し量り介護計画に反映していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。